

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	リコンディショニングⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	海東 翼	実務経験とその関連資格	AT、鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帯同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中			
《授業科目における学習内容》						
アスレティックトレーナーの業務として必須であるアスレティックリハビリテーションについて、実技を踏まえて学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テスト評価:授業内評価:出席評価 70:20:10						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①アスレティックリハビリテーションテキスト⑦ 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
事前に周知される授業範囲について、テキストを読んでおくことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
使用テキストに記載のある事を元に、学問に対する理解を深めていく。進行形態は、各項目を基礎・応用に分け、講義・実技を踏まえ、進行していく。また、一方的な授業ではなく、学生に主導権を与え、グループディスカッションや、プレゼンテーションを行う機会を設定し、思考力・指導力を養える様に授業を構成する。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論:下肢		ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論:下肢		ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝関節について学ぶ(MCL)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論:下肢		ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝内側側副靱帯損傷後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論:下肢		ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝関節について学ぶ(ACL)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論:下肢		ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝前十字靱帯後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢まとめ①	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫後アスレティックリハビリテーションについて理解を深める		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢まとめ②	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝関節靱帯損傷後のアスレティックリハビリテーションについて理解を深める		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	大腿屈筋群肉離れについて学ぶ		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	大腿屈筋群肉離れ後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	扁平足障害・シンスプリント・鷲足炎について学ぶ		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	扁平足障害・シンスプリント・鷲足炎のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ①		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	扁平足障害・シンスプリント・鷲足炎のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ②		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝蓋大腿関節障害について学ぶ		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝蓋大腿関節障害のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	各論: 下肢まとめ③	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝蓋大腿関節障害のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	リコンディショニングⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	海東 翼	実務経験とその関連資格	AT、鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帯同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中			
《授業科目における学習内容》						
アスレティックトレーナーの業務として必須であるアスレティックリハビリテーションについて、実技を踏まえて学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テスト評価:授業内評価:出席評価 70:20:10						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①アスレティックリハビリテーションテキスト⑦ 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
事前に周知される授業範囲について、テキストを読んでおくことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
使用テキストに記載のある事を元に、学問に対する理解を深めていく。進行形態は、各項目を基礎・応用に分け、講義・実技を踏まえ、進行していく。また、一方的な授業ではなく、学生に主導権を与え、グループディスカッションや、プレゼンテーションを行う機会を設定し、思考力・指導力を養える様に授業を構成する。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節について理解出来るようになる		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎)ACL・MCL損傷に対する評価と、問題点の抽出(統合)			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節について理解出来るようになる②		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用)ACL・MCL損傷に対するメニューの立案と指導			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節について理解出来るようになる②		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用)ACL・MCL損傷に対するメニューの立案と指導			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対する評価と問題点の抽出			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対する評価と問題点の抽出			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対するメニューの立案と指導		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについて理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用)PF関節障害・大腿屈筋群肉離れに対するメニューの立案と指導		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期まとめ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	足関節・下腿で取り扱った外傷・障害についての復習		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期まとめ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	足関節・下腿で取り扱った外傷・障害についての復習		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	膝関節・PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについての復習		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる①	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	膝関節・PF関節障害・大腿屈筋群肉離れについての復習		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション(症例を交えて)テスト対策		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション(症例を交えて)テスト対策		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の内容について振り返り理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	まとめ		